

三洋 NCS™

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/22
1.1	2024/01/24	800080005151	初回作成日: 2024/01/22

Corteva Agriscience™ は、この製品の使用者が、重要な情報を記載しているこの(M)SDSを熟読され、ご理解されるようお願いしております。このSDSは、職場における人の健康および安全性の保護、環境保護、緊急時の対応を支援する情報を製品の使用者に提供します。製品を使用される際は、主に製品容器に添付されている製品ラベルを参照する必要があります。このSDSは、日本の法規制及びJIS Z 7253に準拠して作成されたものであり、日本以外の国の規制を満たすものではありません。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : 三洋 NCS™

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社情報

製造業者/輸入業者

コルテバ・ジャパン株式会社

100-6110 東京都千代田区永田町 2-11-1

会社電話番号 : 03-3519-3190

電子メールアドレス : SDS@corteva.com

緊急連絡電話番号 : 0800-170-5827

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 土壌くん蒸剤。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

急性毒性(経口) : 区分4

急性毒性(吸入) : 区分4

皮膚腐食性/刺激性 : 細区分1C

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分1

皮膚感作性 : 区分1

三洋 NCS™

版番号 1.1	改訂日: 2024/01/24	整理番号: 800080005151	前回改訂日: 2024/01/22 初回作成日: 2024/01/22
------------	--------------------	-----------------------	--

特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 区分 1 (中枢神経系)

水生環境有害性 短期（急性） : 区分 1

水生環境有害性 長期（慢性） : 区分 1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H302 + H332 飲み込んだ場合や吸入した場合は有害。
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H370 臓器（中枢神経系）の障害。
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き :

安全対策:

- P260 ミスト／蒸気を吸入しないこと。
- P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- P273 環境への放出を避けること。
- P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置:

- P301 + P312 + P330 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- P301 + P330 + P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- P303 + P361 + P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。
- P304 + P340 + P310 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
- P305 + P351 + P338 + P310 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

三洋 NCS™

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/01/22
1.1 2024/01/24 800080005151 初回作成日: 2024/01/22

P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

P391 漏出物を回収すること。

保管:

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
カーバム	144-54-7	50	2-1796

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させる。呼吸停止の時は救急隊または救急車を呼び、人工呼吸を施す。マウスツーマウス式人工呼吸を行う時は、レスキュー用保護具（ポケットマスクなど）を使用する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。
呼吸困難の場合は、有資格者が酸素吸入を行う。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱がせる。直ちに皮膚を大量の水で 15～20 分間洗浄する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。
すぐに使用できる適切な緊急用安全シャワー設備を設置すること。
- 眼に入った場合 : 直ちに 30 分間以上流水で洗眼し続ける。5 分洗眼してからコンタクトレンズをはずして、また洗い続ける。迅速に医師の診察を受ける。眼科医が望ましい。
すぐに使用できる適切な緊急用洗眼設備を設置すること。
- 飲み込んだ場合 : 中毒情報センターに連絡するか直ちに医師の診察を受ける。
可能なら一杯の水を少しずつ飲ませる。医師の指示がない限り吐かせない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。

三洋 NCS™

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/22
1.1	2024/01/24	800080005151	初回作成日: 2024/01/22

- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。
- 応急措置をする者の保護 : 応急措置担当者は自分の安全確保に注意を払い、推奨されている防護服(耐薬品手袋、飛沫防護)を使用する。ばく露する可能性がある場合は、第8項の保護具の情報を参照。
- 医師に対する特別な注意事項 : 患者に十分な換気および酸素吸入を維持すること。喘息の様な(反応性気道)症状を起こすことがある。気管支拡張薬、去痰薬、鎮咳薬およびコルチコステロイドが有効なことがある。眼の化学熱傷は更なる洗浄が必要になることもある。直ちに医師(可能であれば眼科医)の診察を受ける。熱傷を負っている場合は、除染ののち、熱による熱傷と同じように治療する。特別な解毒剤はない。ばく露に対する治療は、患者の症状に応じて臨時的処置を行う。中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、この安全データシートのほか、できれば製品の容器またはラベルを手元に用意すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧
耐アルコール泡消火剤
二酸化炭素 (CO2)
粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 知見なし。
- 特有の危険有害性 : 燃焼生成物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。
- 特有の消火方法 : 安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。区域から退避させること。現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 適切な安全設備を用いること。追加情報として、第8項、暴露防止及び保護措置を参照。
- 環境に対する注意事項 : 環境への放出は必ず避けなければならない。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。広範囲に広まるのを防ぐ(封じ込めまたはオイルバリアなどによる)。汚染された洗浄水を保管し、処分する。流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。

三洋 NCS™

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/22
1.1	2024/01/24	800080005151	初回作成日: 2024/01/22

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 適切な吸収剤を使って流出の残余物を除去する。
本物質、ならびに放出物の清掃に使用した資材および品目の放出および処分については、地方または国の規制が適用される場合がある。
大規模な流出の場合は、物質が広がらないように、堤防で囲うか、他の適切な封じ込めを行う。堤防で囲った物質をポンプで汲み出せるのであれば、回収物質は、ベント付き容器に保管すること。漏洩物質が更に反応し、容器内が加圧状態になることがあるので、通気孔から水が侵入しないようにすること。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。
吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。
追加情報として、項目 13 の廃棄上の注意を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 : 蒸気/粉じんを吸い込まない。
十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第 8 項、暴露防止及び保護措置を参照。

接触回避 : なし。

保管

安全な保管条件 : 密閉容器に保管すること。
適切なラベルのついた容器に入れておく。
各国の規定に従って保管する。

混触禁止物質 : 強酸化剤

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

設備対策 : 空气中濃度が許容濃度以下に保てるよう制御する。
許容濃度が設定されていない場合、適切な全体換気を行う。
一部の作業には局所排気装置が必要になることがある。

保護具

呼吸用保護具 : 許容濃度を超える可能性がある場合は、呼吸器用保護具を着用する。
許容濃度が未設定の場合、認可された呼吸器用保護具を使用する。

三洋 NCS™

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/22
1.1	2024/01/24	800080005151	初回作成日: 2024/01/22

特定の作業や物質の空气中濃度の可能性に応じて、空気清浄呼吸器又は陽圧送気マスクを選定する。
緊急時には、認可された陽圧自給式呼吸器を使用する。

手の保護具

備考 : この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。望ましい手袋の素材の例：ブチルゴム。天然ゴム(ラテックス)。ネオプレン。ポリエチレン。エチルビニルアルコールラミネート(EVAL)。許容できる手袋の素材の例：ニトリル/ブタジエンゴム(ニトリルまたはNBR)。ポリ塩化ビニル(PVC またはビニル)。バイトン。注意：特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するときは、以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある：取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要件（切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護）、手袋の供給業者からの説明書・仕様書。

眼の保護具

皮膚及び身体の保護具

: ケミカルゴーグルを使用する。
: この物質に耐薬品性のある保護衣を着用する。作業内容に応じて、顔面シールド、長靴、エプロンまたは全身防護服などの保護具を選択する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 黄白色
臭い	: アミン臭
臭いのしきい(閾)値	: データなし
融点/ 範囲	: データなし
凝固点	: データなし
沸点/ 沸騰範囲	: データなし
可燃性 (固体、気体)	: データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限 : データなし
値

爆発範囲の下限 / 可燃下限 : データなし
値

引火点 : データなし

分解温度 : データなし

三洋 NCS™

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/22
1.1	2024/01/24	800080005151	初回作成日: 2024/01/22

pH	:	8.8 - 10.5
蒸発速度	:	データなし
自然発火点	:	データなし
粘度		
動粘度 (動粘性率)	:	データなし
溶解度		
水溶性	:	1,368 g/l (20 ° C)
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	:	データなし。
蒸気圧	:	データなし
密度及び/又は相対密度		
密度	:	1.1609 g/cm ³ (20.5 ° C)
相対ガス密度	:	データなし
爆発特性	:	データなし
酸化特性	:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	:	反応性危険としては分類されない。
化学的安定性	:	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	:	推奨保管条件下では安定。 特に言及すべき危害要因はない。
避けるべき条件	:	知見なし。
混触危険物質	:	なし。
危険有害な分解生成物	:	データなし

11. 有害性情報

急性毒性

製品:

急性毒性 (経口)	:	LD50 (ラット): 751 mg/kg 方法: 推定値。
急性毒性 (吸入)	:	LC50 (ラット): 2.1 mg/l

三洋 NCS™

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/01/22
1.1 2024/01/24 800080005151 初回作成日: 2024/01/22

曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
方法: 推定値。

成分:

カーバム:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): 751 mg/kg
方法: 推定値。
備考: 類似物質について

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): 2.1 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
方法: 推定値。

皮膚腐食性/刺激性

製品:

結果 : 腐食性

成分:

カーバム:

結果 : 腐食性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

製品:

結果 : 腐食性

成分:

カーバム:

結果 : 腐食性

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品:

アセスメント : 皮膚に触れると感作を起すことがある。

成分:

カーバム:

結果 : 感作を起す

三洋 NCS™

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/22
1.1	2024/01/24	800080005151	初回作成日: 2024/01/22

備考 : 皮膚感作性 :
モルモットを用いた試験では、アレルギー性皮膚反応を示した。

備考 : 呼吸器感作性 :
関連のあるデータは得られていない。

生殖細胞変異原性

成分:

カーバム:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : 成分の情報による : , In vitro 遺伝毒性試験では、陰性結果もあったが陽性結果もあった。 , 動物遺伝毒性試験は陰性だった。

発がん性

成分:

カーバム:

発がん性 - アセスメント : 成分の情報による : , 動物試験では発がん性はなかった。

生殖毒性

成分:

カーバム:

生殖毒性 - アセスメント : 成分の情報による : , 動物試験では、生殖を阻害しなかった。 , 動物試験では、繁殖性を阻害することを示した。
成分の情報による : , 動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

製品:

標的臓器 : 中枢神経系
アセスメント : 臓器の障害。

成分:

カーバム:

標的臓器 : 中枢神経系
アセスメント : 臓器の障害のおそれ。

三洋 NCS™

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/01/22
1.1 2024/01/24 800080005151 初回作成日: 2024/01/22

反復投与毒性

成分:**カーバム:**

備考 : 成分の情報による :
動物では、以下の臓器に影響することが報告されている :
肝臓

誤えん有害性

製品:

入手可能な情報によると、誤えん有害性は確定されていない。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期（急性） : 水生生物に非常に強い毒性。
水生環境有害性 長期（慢性） : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

成分:**カーバム:**

藻類／水生生物に対する毒性 : EbC50 (緑藻): 0.062 mg/l
曝露時間: 72 h
試験タイプ: 成長抑制
備考: 類似物質について

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期（急性） : 水生生物に非常に強い毒性。
水生環境有害性 長期（慢性） : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

成分:**カーバム:**

生体蓄積性 : 生物濃縮因子 (BCF) : 3

三洋 NCS™

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/22
1.1	2024/01/24	800080005151	初回作成日: 2024/01/22

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 0.48
(log 値) 備考: 生物濃縮の可能性は低い。(BCF < 100 または Log Pow < 3)

土壌中の移動性

成分:

カーバム:

環境中の分布 : Koc: 58.65
備考: 土壌中移動性が大きい(Koc 50~150)。

オゾン層への有害性

成分:

カーバム:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

他の有害影響

成分:

カーバム:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 廃棄物や容器の廃棄が製品ラベルの指示通りに行えない場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
以下の情報は購入時の状態のときのみ適用される。使用后或いは汚染された場合、特性や記載事項が適合しない可能性がある。適切な法律に則ってきちんとした廃棄物の識別と廃棄方法を決める。生じた物質の毒性や物理的性質を決定するのは廃棄物排出者の責任である。
内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

三洋 NCS™

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/22
1.1	2024/01/24	800080005151	初回作成日: 2024/01/22

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 (UN number)	: UN 1760
国連輸送名 (Proper shipping name)	: CORROSIVE LIQUID, N. O. S. (Carbam)
国連分類 (Class)	: 8
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: 8
環境有害性	: 該当

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number)	: UN 1760
国連輸送名 (Proper shipping name)	: Corrosive liquid, n. o. s. (Carbam)
国連分類 (Class)	: 8
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: Corrosive
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft))	: 856
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft))	: 852

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number)	: UN 1760
国連輸送名 (Proper shipping name)	: CORROSIVE LIQUID, N. O. S. (Carbam)
国連分類 (Class)	: 8
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: 8
EmS コード (EmS Code)	: F-A, S-B
海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant)	: 該当 (Carbam)
備考	: Stowage category A

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当) 供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

緊急時応急措置指針番号 : 154

三洋 NCS™

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/01/22
1.1 2024/01/24 800080005151 初回作成日: 2024/01/22

詳細情報

国連番号 3077 及び 3082 に割り当てられた海洋汚染物質は、液体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味容量が 5L 以下、固体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味質量が 5kg 以下の単一もしくは組合せ容器において、IMDG コードセクション 2.10.2.7、IATA 特別規定 A197 および ADR/RID 特別規定 375 に規定されるように、非危険物として輸送することができる。

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのために、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

15. 適用法令

関連法規

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2 (施行令別表第 9)

化学名	含有量 (%)	備考
N-メチルジチオカルバミン酸	>=50 - <60	2024 年 4 月 1 日以降

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条 (施行令第 18 条)

化学名	備考
N-メチルジチオカルバミン酸	2024 年 4 月 1 日以降

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

第一種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量 (%)
N-メチルジチオカルバミン酸	433	50

農薬取締法

16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ADR - 陸路による 危険物品の国際輸送に関する協定; ASTM - 米国材料試験協会; ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと 考えられる濃度; EmS - 緊急時のスケジュール; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IATA - 国際航空

三洋 NCS™

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/22
1.1	2024/01/24	800080005151	初回作成日: 2024/01/22

運送協会; IBC - 危険化学 品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害 濃度; IMDG - 国際 海上危険物規程; IMO - 国際海事機関. LC50 - 50%致死濃度. LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; RID - 欧州危険物国際鉄道輸送規則; SDS - 安全データシート; UN - 国連. ENCS - 化審 法の既存化学物質リスト ISHL - 労働安全衛生法

製品コード: 3PP - NCS*

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA